

内閣総理大臣

菅 直 人 様

地域コミュニティ再建のための
「自治体スクラム支援」に対する支援要請について

今回の震災は、東北地方を中心に非常に広範囲にわたり大きな被害が出ている点、地震とこれに伴う大津波及び原発事故による複合的・広域的な被害が出ている点、また、これによって復興まで長期化することが予想される点などにおいて、従来型の「国一都道府県一市区町村」という垂直的な災害支援策では充分対処しきれない震災であると考えております。

被災地である福島県南相馬市は、杉並区と災害時相互援助協定を締結しており、群馬県東吾妻町に杉並区が所有する施設に多数の市民が避難しています。さらに、それ以外に約7千人の住民が県境を超えて百ヶ所余りに分散して避難しており、原発事故が長期化の様相を呈する中で、このままでは自治体のコミュニティの崩壊と行政機能の喪失が懸念されます。

杉並区と災害時相互援助協定を締結している群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市、北海道名寄市においても、杉並区からの要請を受けて、物資の提供や避難民の受け入れなど、南相馬市に対する様々な支援を行ってまいりましたが、今般、こうした状況を踏まえ、連携・協力して南相馬市の支援を行う「自治体スクラム支援会議」を立ち上げることにいたしました。

つきましては、被災自治体のコミュニティの再建と行政機能の復旧を迅速かつきめ細かく行うため、以下の事項について強く要請します。

<要請事項>

- 1 今回、私どもが取り組んでいる自治体間の連携による支援「自治体スクラム支援」を新しい仕組みとして位置づけ、財政措置を含めた国の支援対象とすること
- 2 今回の災害のみならず、今後、起こりうる災害等に備え、こうした基礎自治体を中心とした水平的な支援の取組みに対し、法的根拠を与えるなど、必要な措置を講じること

平成23年4月8日

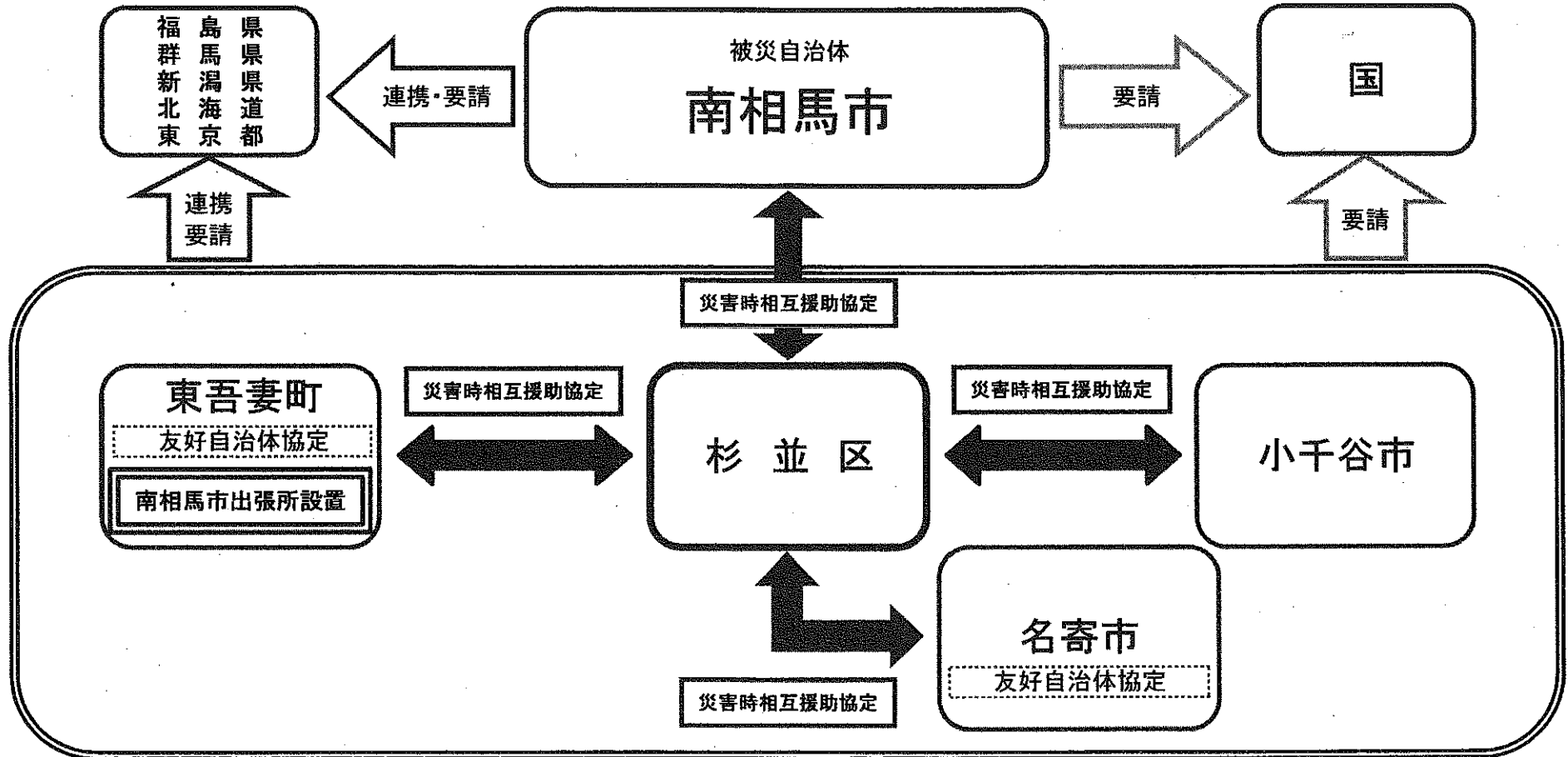
自治体スクラム支援会議

東吾妻町長 中澤 恒喜
小千谷市長 谷井 靖夫
名寄市長 加藤 剛士
杉並区長 田中 良(幹事)

自治体スクラム支援

【趣旨】

- ①地域コミュニティを維持し、分散化させない。
- ②避難者の一日も早い安定した生活を確保する。
- ③交流自治体が直接支援する。



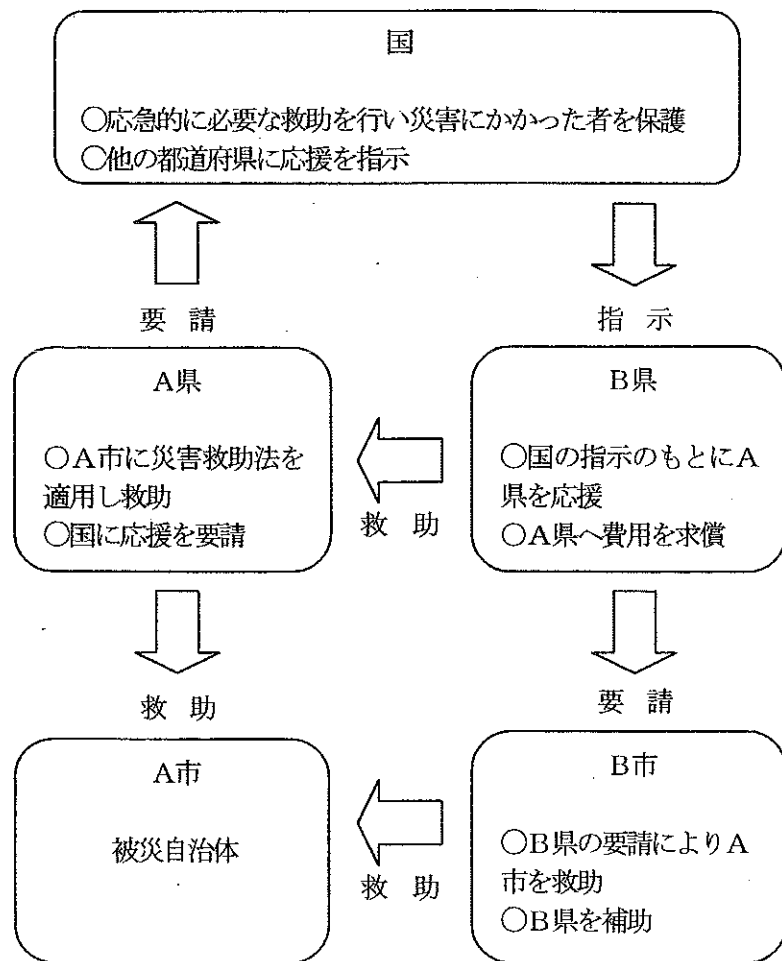
《 要 請 》

- 今回、私どもが取り組んでいる自治体間の連携による支援「自治体スクラム支援」を新しい仕組みとして位置づけ、財政措置を含めた国の支援対象とすること
- 今回の災害のみならず、今後、起こりうる災害等に備え、こうした基礎自治体を中心とした水平的な支援の取組みに対し、法的な根拠を与えるなど、必要な措置を講じること

災害に対する「今までの支援」と「自治体スクラム支援」

今までの支援

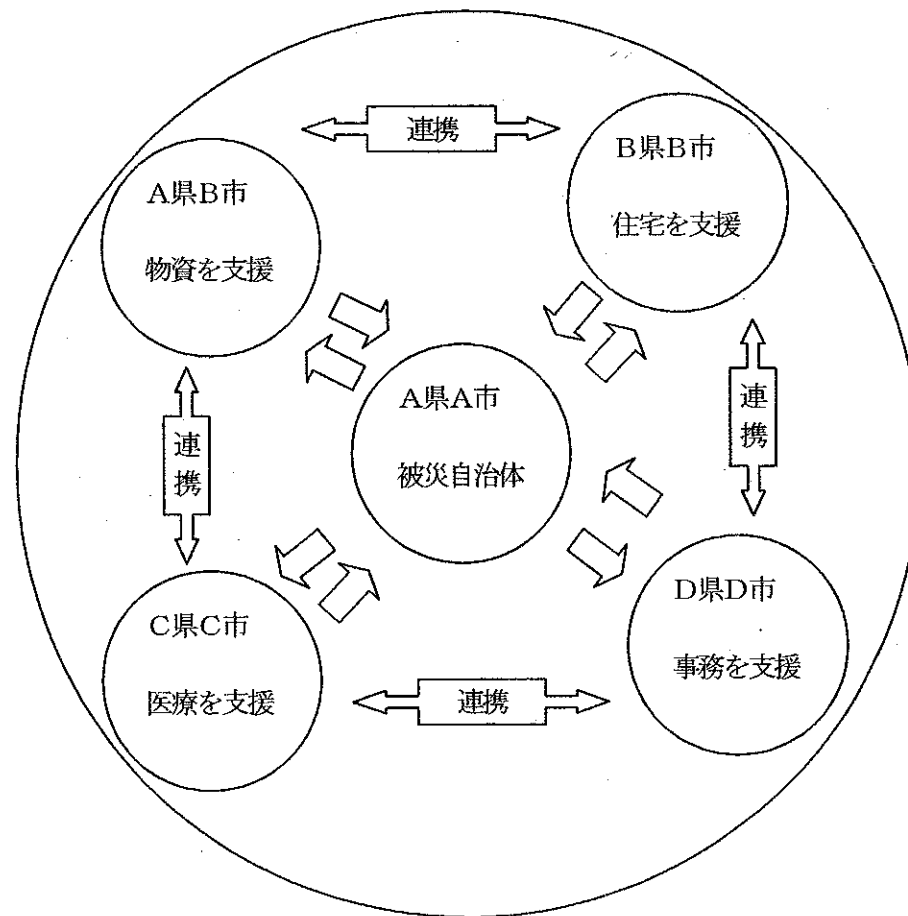
(垂直の支援)



自治体スクラム支援

(水平の支援)

きめ細かな支援
分権時代にふさわしい自治体間の連携



国、都道府県が基礎自治体間の取組みを支援

自治体スクラム支援会議メンバー

群馬県 東吾妻町長	中澤 恒喜	なかざわ つねのぶ
新潟県 小千谷市長	谷井 靖夫	やつい やすお
北海道 名寄市長	加藤 剛士	かとう たけし
東京都 杉並区長	田中 良	たなか りょう

首相官邸等訪問者名簿

福島県南相馬市	市長 桜井 勝延
群馬県東吾妻町	町長 中澤 恒喜
新潟県小千谷市	市長 谷井 靖夫
北海道名寄市	副市長 久保 和幸
東京都杉並区	区長 田中 良
随 行	南相馬市原町区役所長 鈴木 好喜 東吾妻町企画課長 武藤 賢一 小千谷市総務課長 渡辺 靖雄 杉並区危機管理室長 井口 順司 " 防災課長 井上 純良 " 副参事(震災復興担当) 大藤 健一郎 " 区民生活部長 佐藤 博継 " 都市再生担当部長 岩下 泰善 " 都市再生担当課長 高橋 竜太郎 " 秘書担当課長 有坂 幹朗